

このまちをどのような形にしていくなか、本当にまじめに考えて、行動に移したという姿が見えてこない。

今回茨城副都心という言葉を使っているが、副都心にするのではなく、これを機に常総市を出発点として、新たなこのまちの未来を考えていく機会にしたい。少子高齢化でこれから人口は増えず、住宅団地をつくっても簡単に人は来ない。それらの中で常総市の将来像をしっかりと皆さんとつくっていくためにこのような途方もない話をしている。執行部に何らかの考えがあったら聞きたい。

答弁（企画部長）

国や県において具体的に示されたものはないが、大変すばらしい構想と考える。一つの考え方として、可能性はゼロではないというようなことも聞いている。首都機能の一翼を担う都市として、積極的に構想に参画すべきと考えるが、当市のみで実行するのは困難であるので、この構想の具体化に向け、特段のご協力をお願いする。

質問

この地域が安全であるということをお訴え、首都圏をバックアップするだけいくことが大切であると思う。



（その他の質問）

○財政再建について  
○にぎわい再生事業と公園事業との違いについて

常総市の一体感の構築と言われている中で、市長の政策と将来展望についての考えは（総括質問・一問一答）

水野 昇 議員

質問

①常総市の現況のプロジェクトに併合して考える時、将来常総市の活性化に一番必要と考えている政策は。②合併時から一極二制度と言われる中で、旧水海道と旧石下の現状を考えた時、今後どのような施策をもって市長としてリーダーシップを発揮していくのか。③高崎坂東線について、前市長は25年度には認定を受けて事業を始めたいと発表したのが、高杉市長は県との話し合いを反故にしたと聞く。その理由は。④旧石下町時代に事業目的をもって買収求めた10町歩弱の土地について、一部は石下庁舎等に使用しているが、その活用の方策を市長はどう考えているのか。

答弁（市長）

①定住人口を増やしていく政策が一番大事であると考えている。少子化政策、教育機関の整備、住宅政策、立地条件を生かした整備、財政力の強化の5点の政策で定住人口を増やしていきたい。②東京から近い、豊かな自然環境、文化財が多い、平野部が多い、水資源が豊富という5つの長所を伸ばしていきたい。③高崎坂東線が重要であ

ることは認識しているが、県道として整備をすべきと考え、県に積極的に働きかけをしている。④平成25年度から、花の広場として整備するイベントスクエア事業を始める予定である。



質問

常総市は南北に広く工業団地もあり、南北に幹線道路が必要である。また、一極二制度と言われる都市計画について、どこまで方向付けが進んでいるのか。

答弁（市長）

都市計画については非常に重要な問題なので、検討させていただきたい。西幹線道路は常総市の一体感をつくる上で重要であり、県道として早期に整備するよう要望活動をしていく。

質問

10町歩弱の土地について、総合計画で6次産業の育成に使うと答申が出ているようだがどうか。

答弁（市長）

花の広場は一時的な措置として理解していただきたい。

質問

6次産業は農業政策の活性化の大きな土台になるのではないかと思うが、市長としての見解は。

答弁（市長）

土地の有効活用について、現在真剣に議論しているところであり、活用方法はまだ決定していない。

高崎坂東線（向石下、古間木地内）の整備について（二問一答）

風野 芳之 議員

質問

市長が考えている工業団地の拡大に絡み、整備を市で行うことはできないのか。

答弁（都市建設部長）

市の財政状況を考えて県に事業を進めていただくことが最善と考える。

質問

事業費を市が負担して実施する気はあるか。

答弁（市長）

考えていない。

質問

県事業として進める場合、いつごろできるのかという確信は持っているのか。

答弁（都市建設部長）

予算の配分により工事期間は変わりますが、完成は平成35年頃と想定している。

質問

市でやれば工事期間は短くなると思うが、どうか。

答弁（道路課長）

軟弱地盤等があり、延長も長いことから、少なくとも5年位は必要になると思われる。

質問

日野自動車関連企業の誘致、住宅需要の促進も含め、この道路をどう考えているか。

答弁（市長）

とても大切な道路だと認識し、早期完成に向けた要望活動はしっかりと

てきている。

質問

現在の蔵持、篠山地先の道路を通学道路、生活道路として整備する考えはあるか。

答弁(都市建設部長)

危険性が高く、一刻も早い整備が必要と考えている。

質問

何とか解決するという意気込みはないのか。

答弁(市長)

早期実現に向け、県に対し積極的に要望している。

質問

通学路として安全に通させるという目標はあるか。

答弁(市長)

通学道路優先で整備している。真剣に受け止め、十分検討していく。

質問

向石下・古間木地内の開通が遅れることは、市の経済効果にもマイナスになるのではないか。

答弁(都市建設部長)

はつきり検証できないが、何らかの影響はあると考える。

質問

私は合併特例債を活用して県と調整し、交付税措置を受けるべきと考えますが、交付税措置をどう考えているか。

答弁(市長)

交付税措置はいつまで措置されているのか不安を持っている。

質問

しっかりと良い政策を出していただいて、一日も早いまちづくりに取り組みでいただきたい。

〈その他の質問〉

○財政再建について



高崎坂東線

交通体系の整備について  
(二問一答)

岡野 一男 議員

質問

圏央道(仮称)水海道インターチェンジ(以下「I-C」)周辺開発の進捗状況はどうなっているか。

答弁(企画部長)

平成25年度に産業拠点整備課を設置し、具体的な事業推進を図っていく。

質問

もつとスピード感を持ってやっていくことはできないか。

答弁(企画課長)

線引きの見直しは5年に1回で、最短が27年度末であるので、ここに向けた調整を図っていく。

質問

大きな産業基盤の一つである農業に

ついて、I-C周辺開発の中でどのように位置づけているか。

答弁(企画部長)

農業については、市の考え方を整理し、重点的に検討していく。

質問

I-Cを利用した、産業としての農業をどのようにしていく考えがあるか。

答弁(市長)

何らかの形で常総市の農業を生かせるようなものをI-C周辺に持っていくたい。

質問

できるだけ早くI-C周辺の開発を進めていただきたい。

答弁(都市建設部長)

減収額を補てんすれば可能だが、現状では困難。方策を検討していく。

質問

市長は、県等に無料化の要請活動を行ってきたか。

答弁(市長)

市長就任後の8月に知事に要望した。要請、要望活動は何回も行っていただきたい。

質問

朝夕の渋滞解消のため、元町交差点の豊水橋の右折レーンを解消できないか。

答弁(市民生活部長)

規制には難しい課題がある。関係機関と協議していく。

質問

難しい課題とは何か。

答弁(安全安心課長)

市街地に入る車があるため、右折レーンと矢印信号が設置されている。一

番混雑する通勤通学の時間帯を規制するには、利用者の理解を得る必要がある。

質問

交通渋滞を解消し、安全安心なまちづくりをしていただきたい。

〈その他の質問〉

○職員の適正配置について

○生活保護の現状について



圏央道インターチェンジ

生活保護行政について  
(総括質問・一問一答)

石川 栄子 議員

質問

①市民の所得が減り続けている現状と、その中で生活保護受給者増の実態について伺う。また、貧困世帯が増えている原因を聞きたい。

②生活保護費を削減する方針が示され、ほとんどの世帯が減額されようとしている。これでは、健康で文化的な生活が営めなくなると思うが、どう考えているか。

③生活保護受給額の引き下げによつて、個人住民税の非課税限度額、就学援助、保育料など広い範囲に大きく波及していく。影響を与えるすべての分野について、どのような影響があるか。

実態はある。  
 最低賃金への影響は。  
 政府の対応等を注視し対応していく。

①市民の個人総所得は平成20年から減少が続いていたが、本年度において増加の兆しが見え始まった。受給者増の急激な伸びは、近年鈍化傾向にある。保護率は県内で低いほうから12番目である。増加の原因は、景気の低迷、不安定な雇用形態、核家族化、制度に対する意識の変化などがあると考えられる。

引き下げは市民生活に大きく波及し、生活の悪化につながると思うが、市長の考えは。  
 貧困の連鎖を防ぐため、教育支援をし、自立していけるような政策を支援していきたい。

②引き下げについて、正式な情報が入ってきていないのが実情。憲法25条の権利を遵守して見直されるので、それに基づいて執行していく。

○その他の質問  
 ○介護保険制度について

③国では、できる限り影響が及ばないよう対応するとの方針が出された。

沿線の開発計画は。

引き下げに伴う影響が及ばないようにすると、市が負担することになるのか。

新たな産業用地の確保が必要となるため、内守谷工業団地北部の約22ヘクタールの区域で地区計画の策定を進めており、5月上旬には都市計画決定する予定。25年度には坂手工業団地周辺の地区計画を策定し、25年度中の都市計画決定を目標に進めていきたいと考えている。

影響がないよう協議していきたいと思う。

地区計画は坂手地区のどの辺になるのか。

市の負担は増えていくと思うが、どうか。

着工延長は約2950メートル、着手率は80%。平成24年度は、改良工事、迂回路工事を実施した。平成25年度は、事業費4億円を茨城県に工事委託する予定。用地買収の進捗率は93%。

国が正式な数字を示していないので、計算できない。

25年度に工事を実施する場所はどこか。

基準の引き下げで、受給できなくなる人が出ると思われる、所得が増えないのに負担が増えるのではないか。

茨城県のサージタンクから北側へ約

基準の境界で経済的に苦しいという

茨城県のサージタンクから北側へ約

鹿小路細野線の進捗状況について (一問一答)  
 坂巻 文夫 議員



いるのか。  
 新たに進出する企業が使いやすいような区画で販売する考えで、市としての面的整備は行わない。

今年度中に都市計画決定できるのか。

○広域事務組合の一元化について

○その他の質問

今年度中に都市計画決定できるのか。

今年度内を目標に事業を進めていく。



整備中の鹿小路細野線

中国の大気汚染の影響と情報公開について (総括質問・一問一答)  
 金子 晃久 議員

中国の大気汚染の影響が非常に懸念されている。中国のPM2.5の濃度が、WHOの環境基準の約12倍から24倍の数値に当たる深刻な大気汚染の現状を世界が報道している。有害物質が海を

質問

金子 晃久 議員